



ぼくの考えた富士市

広見小学校3年 渡辺輝明

ぼくはいつもこんなことを思う。あんなにいっぱいうちがたたっていて、道があるのかなあ、車はどうして走っているのかな。ぼくらの学校のすぐ南がわは東名こうそくどうろだけど、東の方から車が走ってきても見てるまにどんどんインターの方へ行って、すぐ見えなくなっちゃう。西の方から走ってきた車もやっぱりおんなじだ。東名はひろいし、まっすぐだから、スピードだしたってへいきだな。だけどあんなにうちがいっぱいじゃ、道があってもすぐまがっちゃうだろうな。

朝会社へ行くおとなの人なんか、仕事におくれりゃしないかな。もし火事になんかなったらたいへんだ。

たてものばっかで、消防車だってスピード出して走れやしない。そしたら、あっというまに火事がひろがって困るだろうな。

どこかに広い道を作るところはないかな。ぼくは、ずうっと見まわして見たけれど、やっぱり家と工場ばかりで、ひろばなんかありそうもない。そこで、ぼくは、こんなまちを考えた。火事がおきても、どこに火事があるかすぐわかるように、すごく高いビルをたてるんだ。市役所よりも高いやつ。そしててっぺんをひこうきの駅にするんだ。ひこうきは、はねがないととべないけれど、この絵のひこうきは、はねがなくてもとべるひこうきだ。そしてたてもののまん中ぐらいのところにモノレールの駅も作ろう。富士市は遠くの方から会社や学校へ通う人がいるから、この絵みたいにモノレールで学校へ行けるようにしよう。モノレールは高いところを走るから、道がなくなっても平気だ。はやくこんな町ができないかなあ。



市内のトイレトペーパーのメーカーやチリ紙メーカー、卸問屋の代表者の方々に集まっていただき、渡辺市長と当面する物価問題について話し合っていました。渡辺市長から懇談に先がけ「行政の立場として認識した

いこともあるし、メーカー側の意見などもうかがって、今後、物価問題の参考にしていきたい」とあいさつ。そのあと、品物の表示価格などについて活発な意見交換が行なわれました。

…ま安い価格で市民に

品質表示どおりの製品を

渡辺市長 富士市は紙の都として知られ、トイレトペーパー、チリ紙の生産は、全国の約6割を占めています。ぜひ生産メーカーと問屋さんが一体となっ

て、市民とともに紙の町ならではの気持を持ってほしいですね。

昨年、消費者生活モニター制度をつくり、市も生活必需物資についての価格、品質、規格の問題などいろいろな調査を進めています。たまたま、モニターがトイレトペーパー、チリ紙の物品表示と内容について調べたところ、表示どおり

でないものが市内に出回っていることがわかりました。トイレトペーパーが極端に長かったり、短かったり、チリ紙の枚数が多いとか、少ないという問題です。生産地の都市として富士の紙はおかしいじゃないか、表示どおりに出ていないのではないかという声も出ています。

そこで、まず第1番目にトイレトペーパー、チリ紙が品質表示どおり市民に渡るようにしてほしいということです。

2番目は価格問題で、バラツキが相当あります。ようやく標準以下になりつつありますが、これまでの調査ではだいぶ高い物もあります。はやく標準以下で市民の手に入るようにしてほしいですね。

もうひとつ、富士市がトイレトペーパー、チリ紙の産地である以上、東京のスーパーで売られる価格より安く市民の手が届いてもいいんじゃないだろうかということです。運賃とか手間などすべてを考えると、少なくとも同じ品質、表示のものは安くなると思います。以上の3点についておうかがいします。



品質のバラツキをなくすように 組合から強い指導

メーカー代表 まず第1番目の品質表示については、トイレトペーパーを短くしたり、チリ紙の枚数を減らして利益を取ることは絶対ありません。トイレトペーパーを生産しているメーカーは、中小企業が多く機械の性能が悪い点もあげられます。また、チリ紙の場合は

女工さんの手で数えているので、数えまちがいだと思います。極端に少ないのは現在、規格が450枚、600枚、700枚、1000枚などとバラバラなので、数える方では700枚と読みまちがえてしまったのではないかと思います。組合としても今

後、まちがいのないように、今まで以上に強い指導を行なっていきます。

小売店には標準価格の表示を

卸問屋代表 価格のバラツキですが1月25日にトイレトペーパーとチリ紙の標準品目指定が発表され、2月1日から標準価格になったわけです。市の調査したなかで、標準価格が守られていなかった

↑
たものが随所に出ているようで。これは小売店が、1月25日以前に高い価格で仕入れた物が、標準価格以下で売れば損をしてしまう。大量に仕入る店とすこししか仕入れをしない店とでは、仕入価格もまちまちなので一部の小売店ではすぐに標準価格で売れないということもいえると思います。組合としても、大量に在庫をかかえている小売店には値引きしたりしましたので、じょじょに価格が守られていくような気がします。

● **メーカー代表** 標準価格表の店頭表示は、小売店がやってくれればいいんですが、行政の指導が不徹底だったことも原因となって、一部の大手スーパーだけ表示されているような実情です。そこで業界としても標準価格表に小売店価格が書きこめる用紙を準備しています。

中間問屋がないので 小売りは 安くなるはず…

● **メーカー代表** 富士市がトイレットペーパー、チリ紙の産地なので安い価格で買うことができるのは当然だと思います。この点は流通業者にも考えていただき、なるべく流通段階を経ないで小売店に渡るようにしてほしいですね。

卸問屋代表 地方の場合、産地問屋から2次問屋に行って小売店に渡ります市内の場合は小売店が直接メーカーから仕入れるとか、産地問屋から仕入れ、中間問屋がないので安いはずですが。ただ、標準価格があるのでこれで売っていいという考え悪く解釈すれば高値安定ということでも、そんなに安く売らなくていいということにもなります。現在、高く売られているのも時間の問題で、他の所より安くなると思いますね。

子どもを事故から守ろう

春の交通安全運動 4月6日～15日

今年になって全国で一番交通事故による死者の多い県は愛知県です。ところが市町村別に人口の割合で死者を見ると、3月15日現在、富士市が7人で、全国で最も高い死亡率という不名誉な状態になってしまいました。交通事故の大部分は、十分な注意をすれば防ぐことができるはずですから、この不名誉な汚名をみんなで協力し、1日も早く返上しなければなりません。

さて、4月の入学シーズンをひかえ、今年も「春の交通安全運動」が4月6日か

ら15日までの10日間、全国一斉に行なわれます。運動は、①幼児、児童を事故から守る。②自転車利用者の安全確保。を重点項目に進めていきます。

このため、47年から実施しているスクールゾーンの設定地域、範囲などを整備し、小学校や幼稚園、保育園周辺の交通事故をゼロに近づけます。また、最近バイコロジ運動や新しい都市交通の新しい手として見直されている自転車の安全利用を取り上げ、通勤、通学など自転車の利用が多い地域の安全をはかります。

なお、期間中、自転車の正しい乗り方指導、不法占用物や不法看板の撤去、東名富士インターチェンジ入口で、流入車両の整備、不良車両の指導取締りなどを行ないます。



奥さん、そこは横断歩道とちがいます

飲酒運転

大丈夫が事故のもと

最近、飲酒運転による交通事故が多く発生しています。3月2日に大月線の天間地先で発生した事故では、富士で酒を飲み富士宮へ帰る途中に起こしたもので、運転者と同乗者の2名が即死しました。また、3月12日から15日まで飲酒運転を中心に取り締りを行なった所、13人が検挙されるなど、飲酒運転の恐ろしさがわかっていない人がまだまだ多くいます。

飲酒運転によって事故を起こした人のほとんどが「少ししか飲んでいなかった

から大丈夫」と軽い気持で運転しているようです。お酒を飲むと気持が大きくなるといいますが、普段安全運転をしている人でも、スピードを出したり無理な運転を平気でやってしまいます。

事故を起こし、酔いがさめてから「俺はなんてばかなことをしたんだ」と後悔してもはじまりません。事故を起こせばどうなるか、みなさん知っているはずですが。酒を飲んだら絶対ハンドルを握らないでください。

さらに厳しくなる排水基準

田子の浦港水域で排水規制を受けている紙、パルプ工場は市内に130工場あります。このうち、工場排水の専用排水路となっている岳南排水路には、108工場から1日に150万トンが排出されています。これは田子の浦港へ流れる工場排水の約7割を占めています。

昭和46年に水質汚濁防止法が施行された後、県条例の上乗せ排水基準の段階的適用と、年ごとに水質基準も強化されてきました。また、4月1からは上乗せ

排水基準の第3段階が適用され、SS、CODの負荷量は現在の排出量より全体的に10%から15%がカットされることになります。

これまでに、県・市公害課、公害防止センターが中心となり、基準が守られているか昼夜を問わず立入検査を実施してきました。この結果、検査を行なった工場数は延718工場にものぼりましたが、違反工場も多く、施設の改善命令などを受けた工場は1月現在延213工場もありま

した。213工場の内訳は—

- 特定施設の一時停止処分を受けた工場は延36工場
- 污水处理施設などの改善命令を受けた工場は延125工場
- 注意勧告を受けた工場は延52工場

常時監視

濁度計とCOD計で排水のチェックを

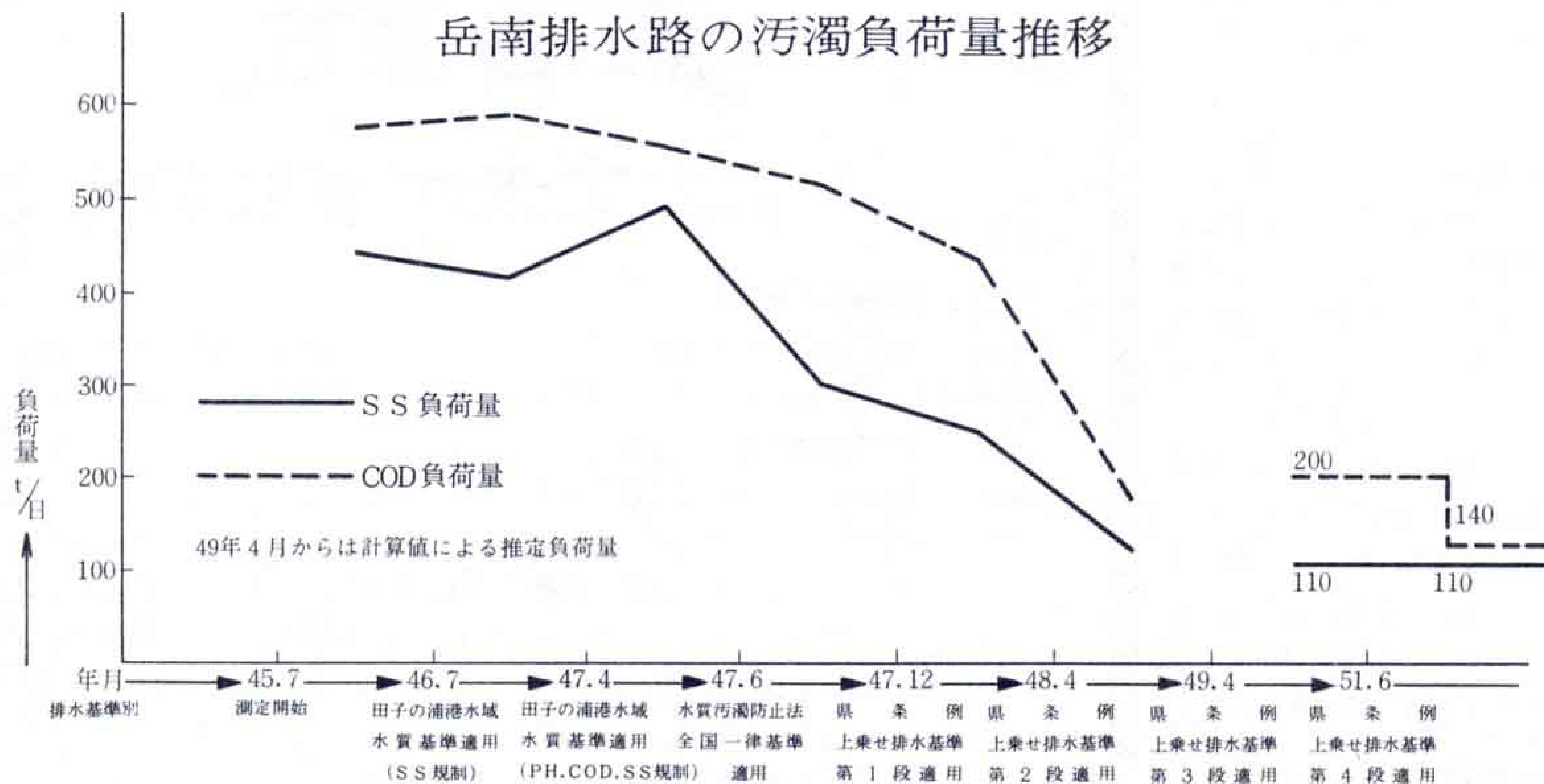
このなかでも、昨年6月に摘発された4工場は悪質なものでした。表面上は污水处理施設で処理した水を岳南排水路に流していましたが、処理施設の前に別の排水路があって、そこからは未処理水をたれ流していました。

そこで、今後は污水处理の適正化をはかるため、処理装置が自動になっていても専従の管理者をつけることを義務づけるとともに、排出水の常時監視装置（濁度計、COD計）の設置などを積極的に押し進めていきます。

下の表は、排水基準別の汚濁負荷量ですが、SS、CODは測定をはじめた昭和45年と現在を比較するとそれぞれ約70%減少しています。



【立ち入り検査をする係員】





今回は横割1丁目で、はり、きゆう療院を営む中村一雄さん(53才)に登場していただきました。中村さんは走ることで体力づくりを行なつて、みるからに健康そのものです。

自分の体力にあった運動を長く続けるのがコツ

中村さんが走るようになったのは12年前の体育の日(10月10日)から。当時40才の若さで肥満と高血圧、頭痛になやまされていたそうです。職業がら人のからだをみるには、自分も健康でなければ十分な仕事ができないと考え、それには走ることによって体力づくりをしようとはじめたのがきっかけとなったそうです。

現在の中村さんは、8キロを30分から40分かけて毎朝走っています。「走ることは健康にいいですね」と専門的な立場からわかりやすく説明してくれました。

12年間走り続けている間に、何人かの走る友だちができたが、多くの方は途中で顔を見せなくなってしまう。今度はほんとに走ることが好きな友だちで、主婦のNさんとタクシー運転手のKさん、3人で話し合っ「マラソン会」を結成した。そして、お互いに新しい仲間を増し

ていこうと誓いあっています。

そこで、これから走ってみようと思っている方々のために、どんな点に注意し



【12年間も走り続けている中村さん】

たらよいかがってみました。

まず、短い距離からはじめ、徐々に距離をのぼすことが大切。最初からはりきりすぎると、翌日足が痛くて走れなかったりして、長続きしないようです。いままでも中村さんをまねて走った人もかなりいたようですが、10年以上走り続けている人と同じ距離を同じ速さで走って失敗している人が多いようです。

中村さんは3カ月間600回、1年間で2000回、4年間で4000回にしたそうです。

走りはじめはゆっくり、終わりは急にやめない、途中で胸が痛くなったら走らないで歩くことも大切。無理をしては長続きしないし、健康を害する危険もありますから、自分の体力を考え無理なく運動を続けていかなければなりませんね。

結局、自分に走れる距離を自分が走れる速さで、無理なく走り続け、汗を流すのが上手な走り方といえそうです。

気候もよくなり、朝起きも苦にならなくなってきました。この機会にみなさんも走ってみませんか。きっとさわやかな気分になれることができると思います。

吉原本町通りで「ちびっ子天国」

4月14日午前11時から
午後4時まで



第3回目の「ちびっ子天国」を4月14日、吉原本町通りで行ないます。当日は吉原本町通りから車を占め出し、道路に遊び場をつくって子どもたちに開放したり、歩行者が道路を自由に歩いたりすることができるようにします。

■日時

4月14日午前11時から午後4時まで

■場所

吉原本町通り(八百半から星一までの450回)

■催し物

・バンド行進…子どもバンドなどが

午前11時にパレードを行ないます
・遊び場コーナー…商工会議所前付近に三輪車などを置き、自由に乘ってもらいます。

・落書きコーナー…1回幅の巻紙を置いて、落書きを楽しんでいただきます。

このほか、無料接待所を4カ所につくります。

■交通規制

ちびっ子天国のあいだ、本町通りは通行止めになります。通行車両には標識でお知らせしますのでご協力をお願いします。

急患の9割が軽症者！

当直医院を正しく利用してください

先日、日曜当直医になった先生から、「一般の患者が多すぎて、急患を見てやれなくてこまった。約9割が軽症者だから、翌日かかりつけの病院へ行ってくれとほんとにたすかるんだが…」と言われました。そこで、富士市医師会に休日や祝日、夜間の緊急医療についてうかがってみました。

家族が病気になれば不安なことはよくわかりますが、突発的な急病はまれなものです。普段から何か異常があったら、早めに通常の診療時間（午前9時から午後5時）にかかりつけの医師に見てもらってください。また、急病か急変のような場合、無理なお願いができる親しい信頼

関係を主治医（現在見てもらっている医師）やかかりつけの医師と結んでおくことも大切ですね。

たとえば、医師会が休祝日に長者町の医療センターで、内科と小児科を開設していますが、ほんとうに緊急を要する患者さんだけを診察することになっています。原則として軽症者は診察いたしません。夜間は市内の医療機関が交代で診療するよう定めてありますが、これは一般に公開してありません。ですから重症で緊急な場合だけ119番で消防署の救急隊に依頼してください。重症の場合は救急車が出動してくれます。ただ、タクシー代わりにすることだけは絶対にやめてほ

しいですね。

現在、休日や祝日、夜間の当直医などは、医師が交代で行なってくれています。協力してくれる先生は、休日や眠る時間、休息の時間などを犠牲にしているわけです。みなさんも当直医などは本来の目的を考え、急病のときだけ利用するようにしてください。



【当直医院などは急病のときだけ利用して】



緑花の相談コーナー

南天に実がならない

問

3年ほど前に南天を日当りのよい場所に植えかえました。ところが、それ以来実が成らなくなっていました。どうしてでしょうか。

答

南天は日当りのよい場所では実が成りませんから、もう一度移植をしてください。植えかえる場所は、日陰でありあまりじめじめしていない所がもっとも適しています。移植の時期としては、3月から4月か10月から11月の春か秋に行なってください。

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださると、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病患者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■4月7日

外科 松本医院（久沢東 71-2570）
 芦川病院（中央町2 52-2480）
 産婦人科 山下医院（西国窪52-0611）

■4月14日

外科 藤井医院（松岡 61-7811）
 渡辺病院（錦町1 51-3751）
 産婦人科 中央病院（本市場61-8800）

■4月21日

外科 吉田医院（石坂 51-2515）
 中央病院（本市場 61-8800）
 産婦人科 遠藤医院（吉原3 52-1941）

■4月28日

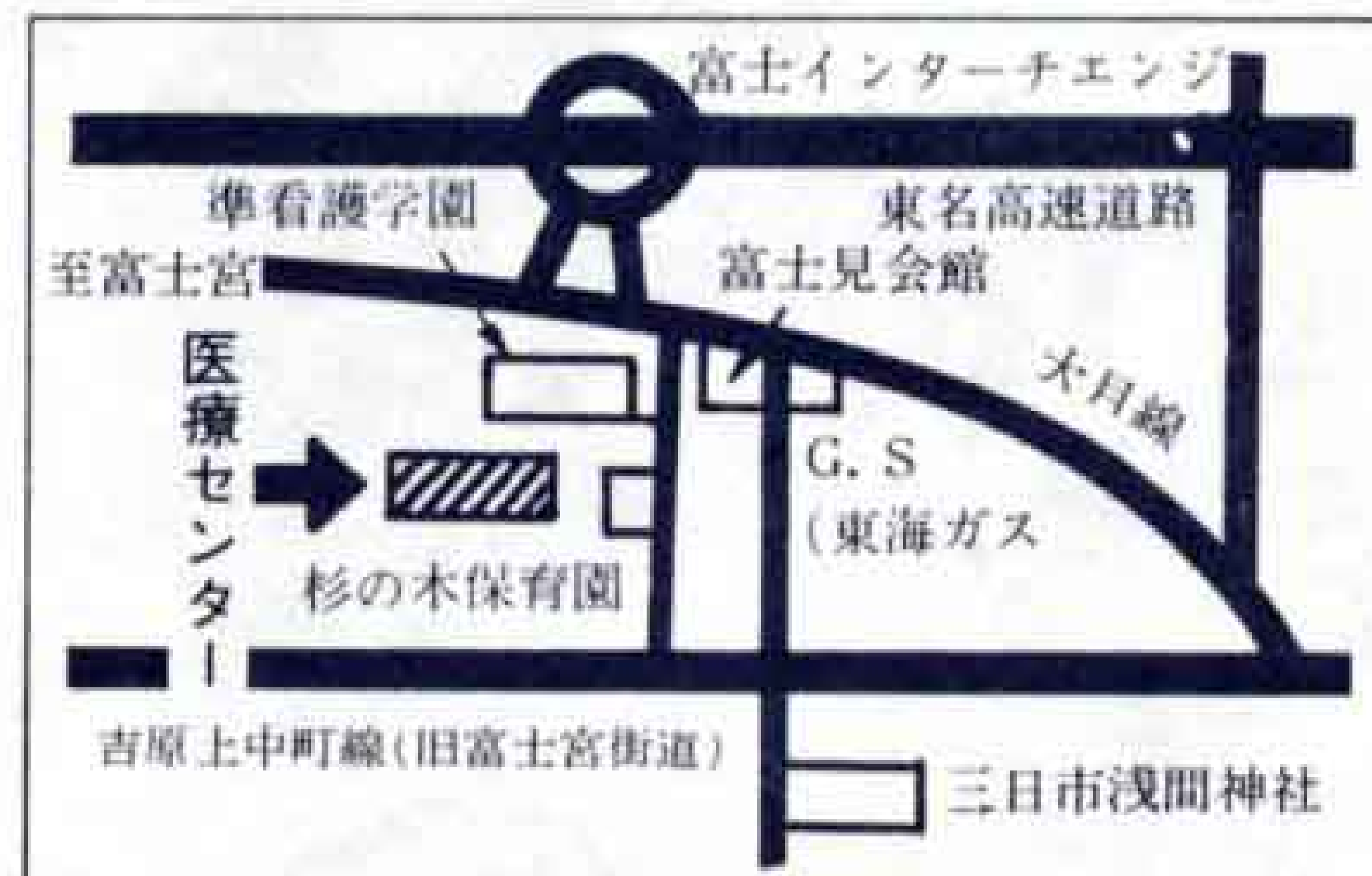
外科 川村医院（富士中島 61-4050）
 吉原病院（南町 52-0780）
 産婦人科 鈴木医院（今泉1 52-1712）

■4月29日

外科 望月医院（本市湯 61-0401）
 米山病院（吉原4 52-3060）

産婦人科 北西医院（本市場61-0119）

医療センター案内図



※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2（長者町）」電話は52-3104です。



陸・海・空の共同作戦で気象観測

気象庁気象研究所は、3月11日、陸、海、空から富士地区の気象観測を行ないました。観測は、当初アメリカの地球資源衛星アーツによる同時観測を予定していましたが、雨で1日延び、アーツの軌道が西にそれたため実現しませんでした。しかし、地上で吉原小など4カ所、海上で20カ所、航空機からも観測を行ないました。なお、測定結果や写真は、気象技術の開発、富士地区の大気汚染解明のための資料となります。

■保安林の黒松を手入れ

元吉原海岸と田子浦海岸一带の保安林45ヘクタールで、黒松の保護育成をはかるため、さきごろ地区の人たちの協力で肥料と補植を行ないました。海岸一带には、3年生の小さなものから、100年以上もたっている大木まで、約31万5000本の黒松が植えてあります。



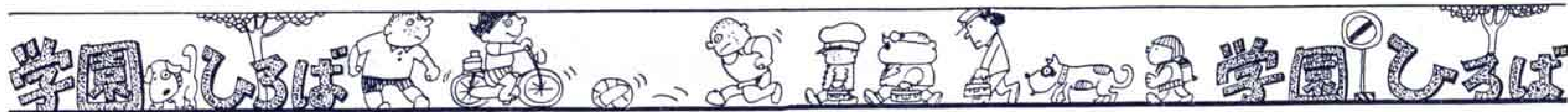
■第2回富士公民館まつり



■危険物の貯蔵は正しく

春の火災予防運動期間中に（2月28日から3月13日まで）、火災の恐しさを市民に知ってもらい、火災予防をはかるため、婦人防火教室、一般住宅の調査、石油類の不法貯蔵立入検査などを実施しました。

（写真は石油類の不法貯蔵の立入検査を行なう消防本部職員）



ぼくのおとうさん

勢子辻分校3年 川村 秀樹



ぼくのおとうさんは、毛が前に上がっています。そして、宿題をやっていないと言うと、すぐがみがみおこります。

昼間はそんなだけ夜になって宿題をやっちゃったと言うと、「ココア飲むか。」とか、「ミカンを持って来い。」と言っていっしょに飲ん

だり、食べたりします。

学校で使う木や花を取って来てと言うと、めし使いみたいにすぐ取って来てくれます。「木が長すぎる。」と言うと、「バカおまえじゃ上等。」と言ったりします。そんなだけやっぱいいおとうさんです。



防火作文の入賞者を表彰

防火作文の入賞者表彰式を3月9日市役所で行ないました。防火作文は、春の火災予防運動期間中に小中学校から募集したもので、70点の応募がありました。このなかから、小中学校別に市長賞や消防長賞などを選びました。

市長賞は、小学校の部で長野満子さん（富士第1小学校5年）、中学校の部で漆畑哉栄くん（吉原第3中学校2年）がそれぞれ受賞しました。

4月に多い小中学生の交通事故

毎年4月は、小中学生の交通事故が多く発生しています。事故に合って入院したりすれば、楽しい学校生活ができなくなってしまいますね。

事故のほとんどは、自動車の運転手さんの不注意によるものですが、なかには急な飛び出しや学校の帰りにふざけながら歩いて事故に合った人もいます。みんなが注意すれば防ぐことができる事故もたくさんありますから、十分注意してください。

わたしの作品

田子浦中学校

一年 川口妙子

投票

〔評〕全くすばらしく書けています。筆の入れ方抜き方も正しく、大変よい作品です。（青木臨川）

伝法小学校

五年 望月実

大志

〔評〕堂々とした作品で、しかも何か語りかけてくる様な感じがします。名前を無理に左へ寄せましたが、その必要はありません。（青木臨川）

